

Project 2 介護医療と予防医療を充実させる

廣瀬 夏野



必要としている人が気軽にサービスを利用できる

私がこのテーマを選んだきっかけは、祖父が入院したことです。食事の栄養管理などの介護が大変だったことから、自分の家だけでなく、他の家でも介護の問題があるのではないかと考えました。

介護医療の現状を知るため、「小規模多機能ホームようこそ」で話を聞くと、「介護を受けたい人が受けられないのではなく、受けたくないという人が多い」という課題があることがわかりました。この課題を解決するために、「お試しでデイサービスに来てもらう」ことや「訪問型支援事業の利用」を推進するために、市内のスーパーなどにポスターを掲示することを提案します。助けを必要としている人が気軽に利用できるサービスを充実させ、さらに認知度を高めたいです。

コミュニティナースの普及

そのほかにも、時間がなく定期検診を受けられない人がいることや、検査を受



▲コミュニティナース養成講座を受講した看護師に話を聞く

けることができても、日常のささいな変化に気づかれにくいといった、予防医療の課題があることがわかりました。この課題を解決するために、地域住民のささいな変化に気づける存在として、かかりつけ医や、看護の専門性をいかしながら、まちに出て多様なケアを実践する医療人材「コミュニティナース」を活用することを提案します。まだあまり知られていませんが、多くの人に知ってもらいたいです。私も将来、看護師として働きながらも地域の医療に貢献することを目指します。



かの 廣瀬 夏野さん

Project 3 せんがまちの棚田の魅力伝える

堀 真大



棚田に興味を持ってもらえるパンフレットの作成

私の身近にはせんがまちの棚田のことを知っている人が少なく、認知度が低いのではないかと思います。みんなに棚田のことを知ってもらうことをテーマにしました。まず、棚田に関するアンケート調査を実施しました。その結果、棚田のことを知っている人は多くいましたが、実際に訪れたことがある人や、どんなイベントや活動が行われているかを知っている人は半数程度にとどまるなど、せんがまち独自の取り組みに対する認知度が低いことがわかりました。

そこで、「せんがまち棚田倶楽部」に協力いただき、これまでとは違った視点からデザインしたパンフレットを作成しました。オーナー制度や茶草場農法といった特徴を紹介し、1枚でせんがまちの棚田の特色を知ることがができるパンフレットになりました。多くの場所に置いてもらい、せんがまちの棚田を知って訪れてほしいです。



まひろ 堀 真大さん